

JAPAN PLATFORM

SUMMARY REPORT : SICHUAN EARTHQUAKE RELIEF PROGRAM

ジャパン・プラットフォーム
中国四川地震被災者支援(2013)報告書

NOVEMBER 2013



特定非営利活動法人(認定 NPO 法人)

ジャパン・プラットフォーム

〒100-0004 東京都千代田区大手町 1-6-1 大手町ビル 2 階 266 区

TEL : 03-5223-8891 FAX : 03-3240-6090

<http://www.japanplatform.org>

©2013 Japan Platform. All rights reserved. (2013 年 11 月)



謝 辞

2013年4月20日、中華人民共和国の南西部に位置する四川省雅安市蘆山県で発生したマグニチュード7の地震は、甚大な被害をもたらし、3日後の4月23日時点で被災者数は190万人、死者数も193人にのぼることが判明いたしました。

ジャパン・プラットフォーム(JPF)では救援に出動すべきと判断いたしましたが、被災地へのアクセスが許可制であったため、日本のNGOが直接現地に入ることができませんでした。検討の結果、中国に提携団体を持つJPF加盟NGOが、その提携団体を通じて支援を提供することとし、皆様のご支援をお呼びかけいたしました。

私どものお願いに対して予想を上回る多くの企業・団体・個人の皆様からご支持を賜り、総額約1億2000万円という多額の支援金をお預かりいたしました。お陰さまで8件の支援事業を実施することができましたこと、皆様に衷心より御礼を申し上げますとともに、ここに活動の概要をご報告いたします。ご高覧いただき、皆様の支援金が有効に活かされたことをご確認いただければ幸いです。

JPFは自然災害や紛争による被災者救済のために、日本発のより良い支援を目指し、これからも尽力して参る所存です。引き続きご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

2013年11月吉日
特定非営利活動法人(認定NPO法人)
ジャパン・プラットフォーム
共同代表理事 有馬 利男



JPFの機能

ジャパン・プラットフォーム(JPF)とは、NGO、経済界、政府が協働して、市民社会と共に日本発の国際人道支援に取り組むための団体です。



2000年の発足以降、40以上の国や地域で総額280億円による860の支援事業を実施してきました。

団体名称一覧

ADRA : 特定非営利活動法人 ADRA Japan

SCJ : 公益社団法人 セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン

PWJ : 特定非営利活動法人 ピースウィンズ・ジャパン

WVJ : 特定非営利活動法人 ワールド・ビジョン・ジャパン

表紙写真(上から): ©ADRA, ©WVJ, ©PWJ, ©ADRA, ©SCJ, ©WVJ

地震発生

2013年4月20日午前8時2分(日本時間:午前9時2分)、四川省雅安市蘆山県付近でマグニチュード7の地震が発生。死者196人、負傷者14,785人、被災者218万人、避難者23万7,655人にのぼる人的被害に加え、倒壊家屋19万3千軒、損壊家屋51万軒を数える大きな被害をもたらしました。JPFでは地震発生直後から、被害状況や現地の対応などの情報収集を開始しました。並行して、JPF加盟NGOも現地の提携団体を通じて情報収集を行いました。

(出所:IFRC Operation Update =2013年7月23日)

アセスメント、
出動決定

JPF加盟NGOの現地提携団体は、2008年四川省地震の被災者支援で培った信頼関係やネットワークを活かして、迅速かつきめ細かいニーズアセスメントを実施しました。道路の寸断にもかかわらず夜通し歩くなどして、素早く調査に入った結果、被災地の行政機関やコミュニティからも信頼され、支援活動を行う際に大いに役立ちました。

JPFでは情報収集を踏まえ、4月23日に正式に出動を決定。本災害では中国政府の方針によりすべての支援団体が許可制とされたため、現地で許可を得て活動している提携団体を持つJPF加盟NGOに助成を行い、提携団体を通じて支援を実施、加盟NGOはモニタリングを行うという体制をとりました。

寄付金受付

24日には、三菱東京UFJ銀行の協力により振込手数料が無料の口座を開設。寄付金の呼びかけを開始しました。迅速な寄付のお申し出をいただき、結果的に企業・団体・個人の皆様から約1億2千万円という多額のご寄付を頂けたことで、当初のプログラム計画(予算:1500万円、期間:1ヵ月)を大きく変更。より多くのニーズを満たす事業計画を立てることが可能となりました。

事業立案・
実施

各団体の事業は、被災地の人々と綿密な連絡・相談を繰り返して計画・実施されました。夜の暗闇による2次被害を防ぐためのランプや夏に備えるための蚊帳など、現地のニーズに即して支援物資の内容を決定しました。支援物資の配布の際にも、現地の協力者の声を聞いたり配布作業を手伝ってもらうなど、信頼関係を構築したうえで事業を進めていきました。

また各団体は、省・県など様々なレベルの行政機関と綿密に連携。何度も連絡や会議を重ね、物資配布先の調整、物資保管用倉庫の提供など、数々の協力を得ることができました。同時に、行政機関だけではカバーしきれない支援を行うことで、支援のギャップを埋めることにも注力しました。

本災害では、支援団体の情報交換・連携用の施設が四川省によって用意されました。行政によるこうした取り組みは、災害への対応体制が整ってきている証だと各団体が評価しています。

モニタリング

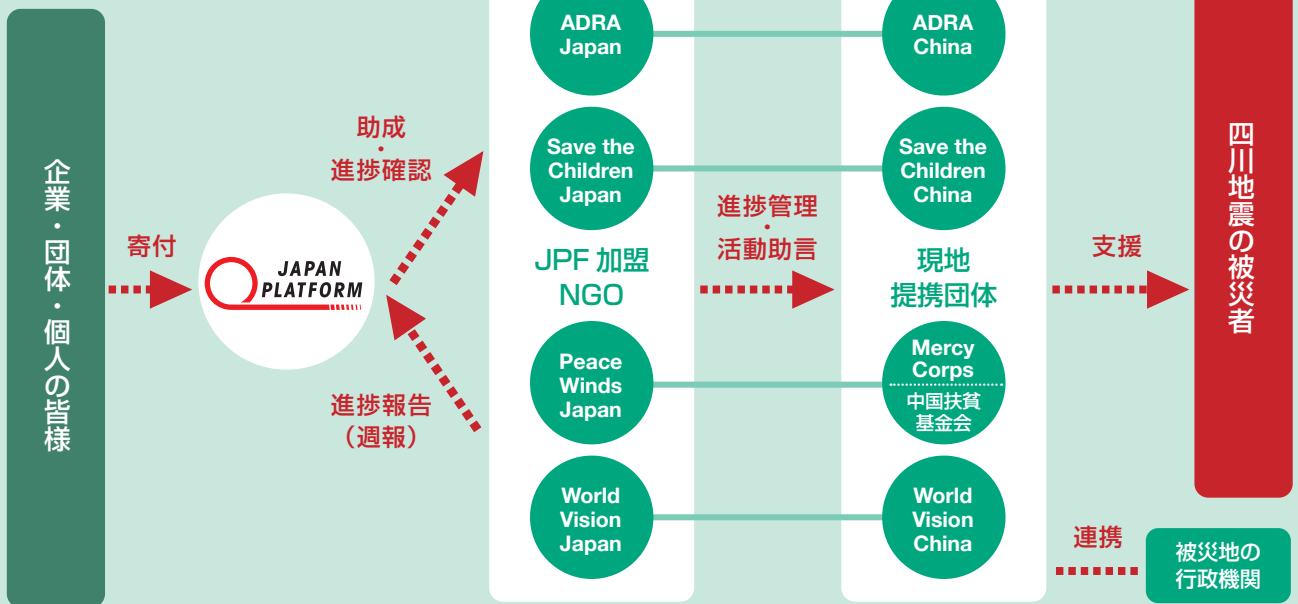
JPF加盟NGOは現地提携団体と緊密な連絡を取り合いながら事業の進捗管理を行い、JPF事務局は加盟NGOによる週報で事業の進捗を確認しました。さらには、加盟NGOの日本人スタッフが随時、四川省に出張し、現地提携団体の活動状況を自らの目で確認。必要に応じて支援活動に対する助言も行いました。



支援概要

- 事業期間 : 2013年5月2日～12月18日
- 資金規模 : 1.13億円余(返還予定金を含む)
- 総事業数 : 8事業(報告書作成事業を含む)
- 活動団体数 : 5団体(JPF事務局を含む)
- 寄付件数 : 60件(企業・団体・個人)

事業実施体制



©WVJ



©PWJ



©SCJ



©ADRA

特定非営利活動法人 ADRA Japan(ADRA)



第1期
5月4日～
7月1日

四川省雅安市天全県・芦山県および その周辺地域における生活物資配布

食糧を含む最低限の物資は配布されているが、生活物資が行きわたっていなかった状況に対し、約5,600世帯を対象に、ニーズに応じて「タオルケット、蚊帳、防虫剤セット」または「シャンプー、石けん、生理用品、洗面器セット」を配布しました。

第2期
7月3日～
8月13日

四川省雅安市およびその周辺地域における 被災住民生活環境回復のための物資配布

多くの被災住民が元の生活に戻れていない中、生活環境を回復するために、5,900世帯を対象に、タオルケット、電気コンロ、ソーラー・ライトなどの物資を配布しました。

特定非営利活動法人 ピースウィンズ・ジャパン(PWJ)



第1期
5月2日～
6月30日

四川省雅安市天全県および その周辺地域における生活物資配布

最低限のテントや毛布などは配布されているものの、衛生物資などが行きわたっていなかった状況に対し、約5,000世帯に対して衛生用品セットなどを配布しました。

第2期
7月3日～
10月20日

四川省雅安市天全県における 被災学校・幼稚園への備品提供

学校が大きな被害を受け、プレハブ校舎の建設が開始されましたが、学校備品の提供についてはめどが立っていませんでした。特に被災の大きかった48校に対し、教科書、図工具、楽器、実験具および教職員用の事務用品などの学校備品を提供しました。

公益社団法人 セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン(SCJ)



第1期
5月14日～
6月30日

四川省雅安市における四川地震の 被災者に対する充電式ランプの配布

頻発する停電の影響でテントや避難所において日没後、子どもを中心として安心して生活ができない状況に対し、1,800以上の世帯に充電式ランプを配布しました。

第2期
7月22日～
10月31日

四川省雅安市における四川地震の 被災幼稚園に対する必要物品の配布事業

特に被災の深刻な幼稚園約18園に通う2,500人弱の園児に対して、「HEART(Healing and Education through Art):芸術を通じた癒しと教育プログラム」に必要な物品を配布。地震によりトラウマになりかねない経験を、高いストレス下にある子どもたちが、必要な心理社会的ケアを受ける機会を提供しました。

特定非営利活動法人 ワールド・ビジョン・ジャパン(WVJ)



6月27日～
8月27日

四川地震被災者の教育環境改善

仮校舎の教室には扇風機や空調設備がなく、室内温度が35度を超える中、子どもたちが勉強に集中できない状況に対し、35校に扇風機約1,500台を配布しました。また、必要な物がないまま寮生活している多くの学生に対し、23校に寝具約4,800セットを配布しました。

特定非営利活動法人 ジャパン・プラットフォーム(JPF)



9月19日～
12月18日

JPF事務局による報告書作成事業

中国での支援事業の実施担当者への聞き取りなどを踏まえて報告書を作成。ご寄付によりご支援くださった方々に活動内容と成果をご報告します。

企業・団体・個人の皆様からの多大なるご寄付により、 被災者支援活動が可能となりました。心より御礼申し上げます。

愛知製鋼株式会社	豊田合成株式会社
株式会社 NTT ドコモ (「ドコモケータイ送金」「ドコモポイント」によるユーザー様からのご寄付)	トヨタ自動車株式会社
MS&AD インシュアランスグループホールディングス株式会社 ならびに MS&AD インシュアランスグループ社員	トヨタ自動車株式会社従業員有志一同
岡部株式会社	豊田通商株式会社
花王ハートポケット倶楽部	トヨタ紡織株式会社
光洋機械工業株式会社	日本郵船株式会社
光洋サーモシステム株式会社	日本郵船株式会社社員有志一同
光洋シーリングテクノ株式会社	公益財団法人パブリックリソース財団
光洋電子工業株式会社	日野自動車株式会社
株式会社ジェイテクト	丸紅株式会社
有限会社新和	三菱倉庫株式会社
双日株式会社	三菱電機株式会社
ソニー株式会社 (社員募金の呼びかけ)	横河電機株式会社
株式会社デンソー	
株式会社東芝	個人の皆様からのご寄付 32 件

トヨタ自動車株式会社



小川 桃子 様

社会貢献推進部
海外グループ:トヨタの現
地事業体の社会貢献活動
を支援



渡会 友理子 様

社会貢献推進部
トヨタボランティアセン
ター:従業員のボランティ
アや募金活動などを支援

従業員の「応援したい」気持ちに応えた支援

今回の四川地震では、当社の現地事業体(現地法人)もある隣国の被災を見過ごすことはできないとして、トヨタ自動車と現地事業体が支援金を拠出させていただくことを、震災直後に決定いたしました。

同時にトヨタ自動車の国内の従業員に募金を呼び掛けたところ、予想を上回る額が集まりました。被災の大きさに加え、当社従業員には出張・赴任などを通じて中国で働いた経験のある者が多く、心から現地を応援したいという気持ちが表れたのだと思います。この気持ちに応えるべく、会社としても従業員募金と同額をマッチングして拠出いたしました。

中国政府の方針で支援活動が許可制とされ、こうした支援の気持ちを現地に届けるルートに限られる中、JPFでは早い時期から、加盟NGOと提携団体による支援活動の実施と日本国内からの支援金受け入れを表明されました。私どももいち早く現地の被災者に支援を届けたいと、JPFをお願いすることにいたしました。これもJPFのこれまでの実績と精力的なご活動の賜物と存じます。

私ども企業の社会貢献活動のパートナーとして、これからもより一層のご発展をご期待申し上げます。

地震により、私たちの生活は一変してしまいました。家は瞬時に崩れ落ち、家財道具はすべて瓦礫の下に埋まってしまいました。そんな中、ADRAからの支援のお陰で、とりあえずの生活を取り戻すことができつつあります。今後の生活の再建に向け、希望を持つことができそうです。

(物資配布を受けた女性＝ADRA事業)

生徒は視覚を通じて学ぶことができるので、より興味を示して学習しています。

(マルチメディア機器を受領した学校＝PWJ事業)



©SCJ

配布された教材(絵本)にはたくさんのお話があり、楽しくて大好き!

(幼稚園児＝PWJ事業)



©ADRA

幼稚園には支援が届いておらず、子どもたちが安心して遊びに使える道具が不足していました。セーブ・ザ・チルドレンからの支援にはと

ても感謝しています。

(幼稚園の先生＝SCJ事業)



©PWJ

改修された校舎に戻ったあとも、扇風機を大切に活用し続けます。そのことが、ご支援をくださった皆様への御礼になると思っています。

(扇風機の配布を受けた学校の校長＝WVJ事業)



©WVJ

特定非営利活動法人 ADRA Japan(ADRA)

<http://www.adrajpn.org/>



小出 一博

事業部所属。4年間ラオスでの開発事業に従事したあと、中国四川地震など緊急支援にも携わる。現在は主に東日本復興支援事業を担当

被災地での信頼関係が可能にした迅速な支援

今回の四川地震被災者支援事業は、2008年に次いで2回目の中国における震災対応でした。地震発生後すぐにJPFは支援を決定し、それを受けてADRA Japanも現地の提携団体であるADRA China成都事務所を通じて情報収集を開始しました。

その後、地滑りで交通が遮断されるなど困難を極める中、ADRAの現地スタッフは震源地である雅安市の手前約40km地点から10時間かけて徒歩で被災地に入り、調査を行いました。このような働きがキッカケとなり、現地の政府関係者との間で信頼関係が構築され、その後のスムーズな事業運営と迅速な物資配付が可能となりました。

また今回の震災では、中国政府により支援に入るすべての団体が許可制とされたため、許可を得て活動しているADRA Chinaと連携して支援事業を実施しましたが、現地を得た信頼関係により日本からの支援であることを伝えることもできました。地震発生から3ヵ月後の7月末のモニタリングでは、倒壊した家屋の再建準備が整う中、ある被災者の方が笑顔で「ありがとうございました。本当に勇気づけられました」とお礼を伝えてくださいました。この言葉を、温かいご支援をくださった日本の皆様に贈ります。



雅安市天全县で配付された蚊帳を大切に使用している被災者 ©ADRA



成都でトラックに支援物資を積み込んでいるときの様子 ©ADRA

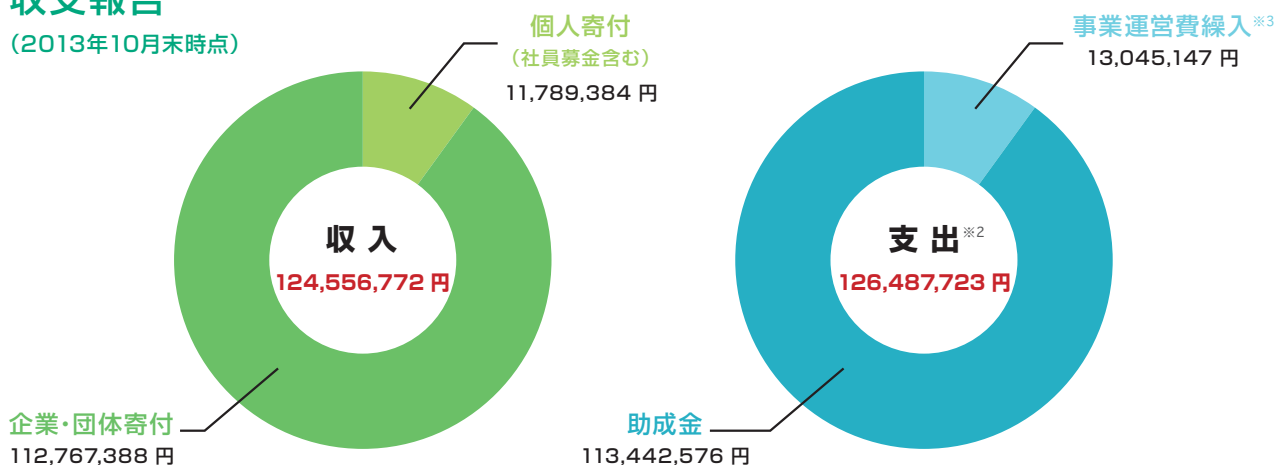
団体名	事業名	実施期間	当初予算額
ADRA	四川省雅安市天全県・芦山県およびその周辺地域における生活物資配布	始期: 2013年5月4日 終期: 2013年7月1日	¥16,858,990
ADRA	四川省雅安市およびその周辺地域における被災住民生活環境回復のための物資配布	始期: 2013年7月3日 終期: 2013年8月13日	¥15,516,539
PWJ	四川省雅安市天全県およびその周辺地域における生活物資配布	始期: 2013年5月2日 終期: 2013年6月30日	¥18,379,809
PWJ	四川省雅安市天全県における被災学校・幼稚園への備品提供	始期: 2013年7月3日 終期: 2013年10月20日	¥22,722,193
SCJ	中国四川省雅安市における四川地震の被災者に対する充電式ランプの配布事業	始期: 2013年5月14日 終期: 2013年6月30日	¥3,024,606
SCJ	中国四川省雅安市における四川地震の被災幼稚園に対する必要物資の配布事業	始期: 2013年7月22日 終期: 2013年10月31日	¥16,017,744
WVJ	中国四川地震被災者の教育環境改善事業	始期: 2013年6月27日 終期: 2013年8月27日	¥19,664,695
JPF	JPF事務局による報告書作成事業	始期: 2013年9月19日 終期: 2013年12月18日	¥1,258,000
合計:8事業			¥113,442,576

※ 事業実施後に返還金が見込まれるため、当初予算額のみ掲載。
 ※ 財源はすべて民間資金。

※ 事業名については、契約書記載のものとしします。
 ※ 全事業は2013年12月終了予定。

収支報告^{※1}

(2013年10月末時点)



※1 収支報告は10月末時点の金額であり、最終会計報告は全事業終了後、JPFウェブサイトなどに報告します。

※2 事業実施後、返還金などが見込まれるため、一時的に支出超過となっています。

※3 事業運営費として企業・団体寄付の10%、個人寄付の15%を繰り入れています。